



西宮だより

発行 杉並区立西宮中学校
令和元年度3月号(2020)

<http://www.suginami-school.ed.jp/nishimiyachu/>

《教育目標》
◇心豊かな人
◇自ら学ぶ人
◇健康な人
『自主自律』の精神

私たちの祖先、そして私たち

校長 由井 良昌

今杉並区立学校では、3月1日から臨時休校の措置がとられました。生徒の皆さんが、新型コロナウイルスに感染しないよう、十分に留意して生活することを願っています。

さて、1月の学校だよりで、同じ程度の脳をもち、身体能力は我々の祖先よりも優れていたネアンデルタール人が滅んでしまったのは、私たちの祖先は想像力に優れていたからだということを書きました。この学校だよりを読んだ地域の方から「この静岡大学の先生は、『サピエンス全史』(ユヴァル・ノア・ハラリ著・柴田裕之訳 河出書房新社)を読んでいるのかしら。今、ベストセラーですよ。」というご助言をいただきました。このイスラエルの大学教授ハラリ氏の名前はどこかで聞いたような気がしました。確かテレビで放映されたな、直近の著書『21 Lessons』が書店に並んでいたなと頭に浮かびました。すぐに上巻を購入しました。我々の祖先(ハラリ氏はホモ・サピエンスもしくはサピエンスと記しています。)が、ネアンデルタール人を絶滅させ、地球上唯一の人類になれたのは、その比類なき言語によるためだとハラリ氏はいっています。我々サピエンスは想像することで言語をより発達させ、集団で協力できるようになったということです。(なぜ、サピエンスだけが言語を高度に発達させることができたかははっきりしないのだそうです。)

この本は、使用している言葉は難解ですが、私にとってとても興味深いものでした。皆さんが歴史の初期段階で学習する、狩猟採集生活から農耕牧畜生活に変化し、人類の暮らしは豊かになったという通説は必ずしも当てはまらないようです。狩猟採集生活は様々な種類の食物を取り、豊かに暮らすことができていた。逆に農耕牧畜生活では、作物や畜産物をたくさん手に入れることができたけれども、その結果、人口が増加し、不作などに備え常に貯えをしておかなければならなくなった。小麦や米、羊、豚や牛等の世話を入念に行うようになり、そのために定住し、働く時間も長くなった。さらに、単一作物を大量に作ることになるので、気候等の影響で凶作の時は、他の作物に頼ることができないため、飢えて亡くなる人も出てくるようになった。定住によって細菌やウィルス等の集団感染の問題も出てくるようになった。狩猟採集生活ではこのようなことはあてはまらなかった、のだそうです。

人類は、農耕や牧畜により、小麦や羊等を大量に生産することになりました。それは、これらの作物や畜産物に人類が使われていることだともいえるということです。「私たちが小麦を栽培化したのではなく、小麦が私たちを家畜化したのだ。」という本書の記述に衝撃を受けました。多面的・多角的に考えると、我々人類の多様性ととも、人類以外の視点でものごとをとらえ考えてみることも大切であると痛感しました。我々の祖先サピエンスは、アフリカ大陸からユーラシア大陸、その後オーストラリア大陸やアメリカ大陸に進出し、多くの大型動物を捕獲し絶滅させてきました。それは、この地球の生命体に大きな影響を与えました。

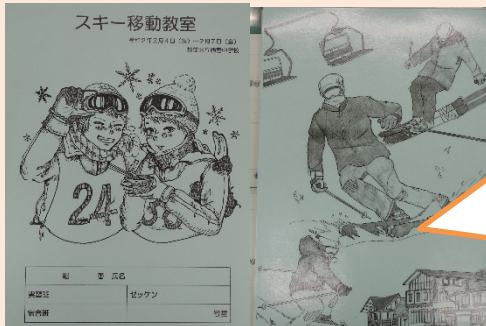
我々サピエンスの立場でのみ考え解決していたら、今の地球はどうなってしまうのでしょうか。ネアンデルタール人は3万年前までは地球上に存在していました。その後の、我々サピエンスによるめまぐるしい科学技術の発展、地球温暖化などの環境問題、人工知能などが、我々サピエンスにそして地球に、どう影響を与えていくのか多面的・多角的に考えていく必要があります。

2月の主な行事等 PICK UP !

2月4日(火)～7日(金) 移動教室 2年生

3泊4日の日程で菅平高原に行ってきました。快晴あり、降雪ありと、様々な天候のもと、白銀の世界での実習となりました。スキーを初めておこなう生徒が大勢いましたが、最終日にはまるで別人のように上達し、誰もが大きな達成感に満ちた表情をしていました。

優しく丁寧に教えてくださったインストラクターの方々、お世話をしてくださった宿泊先のゾンタックの方々など多くのサポートに支えられた4日間の思い出を大切にするとともに、集団生活で成長できた部分を、残り僅かとなった「2年生」の学校生活にいかしていきたいと思います。



移動教室のしおりです。
表表紙はA組の箱崎さん
裏表紙はA組の藤本さん
それぞれ作成してくれました。力作です！



2月7日(金) 校外学習 1年生

東京下町の最低気温が1℃。立春後の寒波の中、校外学習を行いました。夏休みの宿題の“杉並調べ”から始まり、3学年の修学旅行につながる地域、日本を知る行事の一環です。

自分たちで学習場所を選定し、事前に歴史や関わる人物、見どころなどを学習し、廻るコースを調整し、食事場所、メニューを決め、時間を調べ、充実した時間を積み上げて臨みました。

事後学習は、事前に調べたことを現地で確かめ、思ったことや新しく知ったことを壁新聞とパワーポイントによる発表形式でまとめました。

自分たちだけで行動するのは大変だったけど、楽しい1日でした！



たくさんのことが学べました！

2月15日(土) 百人一首

今年も、杉並かるた会の方々をお招きし、百人一首大会を開催しました。1年生は“ちらし取り”、2年生は“源平戦”の形式で競い合いました。3年生は、各教室で競技を行いました。

かるた会の方々、模範競技があるため、着物を着て臨んでくださるのも恒例となっています。

模範競技では、迫力のある“競技かるた”の雰囲気と技に、思わず「お～！」の声も。そして、生徒同士の対戦が早く済んだため、かるた会の方々と、1・2学年各クラスのトップの生徒とのエキシビジョンマッチも行われました。伝統文化に触れる良い時間となりました。



2月17日(月)～22日(土) アフタースクールスタディー

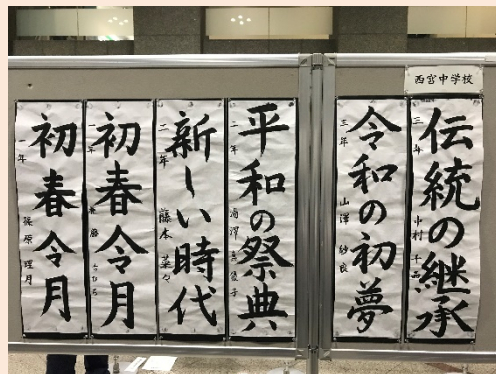
学校支援本部「ともいく」のご協力の下、今年度最後の定期考査に向けて放課後にアフタースクールスタディー（放課後の補習教室）を行いました。各々が真剣に学習に取り組む姿が見られました。



2月までの大会等実績

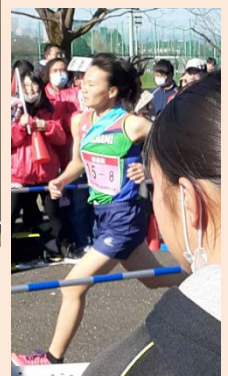
・杉並区書き初め展出品

3年A組 中村千晶さん
C組 山澤紗良さん
2年A組 藤本菜々さん 湯澤真優子さん
1年B組 権藤ちひろさん
C組 篠原理月さん
校内展にて「金賞等」受賞の皆さんの作品が出品されました。



・東京駅伝(女子の部)

2年B組 折田澪さん(第8区)
当日、杉並区女子は第9位と大健闘！お疲れ様でした！！



・百人一首大会結果

優勝クラス	1学年	B組	2学年	C組
個人賞	1学年	1位	D組	中村結希さん
チーム賞	2学年	1位	C組8班(キャプテン:木村彩乃さん)	
	3学年	1位	B組 大倉裕史くん、川邊兼太くんペア	

《3月の主な行事予定》

- 2日(月) 都立高校一次前期発表
臨時休業日(始)
- 5日(木) 都立高校後期二次出願
- 6日(金) 都立高校後期二次取り下げ
- 9日(月) 都立高校後期二次再提出
- 10日(火) 都立高校後期二次検査・追検査

- 16日(月) 都立高校後期二次発表
- 19日(木) 卒業式
- ~~○ 23日(月) 保護者会(1・2年) 中止~~
- 24日(火) 臨時休業日(終)
- 26日(木) 春季休業日(始)

ラグビー豆知識コーナー

今号では、ルールの一部とプレイについてご紹介。

ラグビーの得点は、トライで5点、その後のキックで2点が入ります。もっともよくある反則が、ノックオンとスローフォワードです。ノックオンは、前方にボールを落とすもの。スローフォワードは前方にパスをする反則です。これらの反則は、相手ボールのスクラム(互いに組み合い、ボールを奪い合うプレイ)からリスタートになります。

スクラムは3人で、ラインアウト(ボールがタッチラインから出た時のセットプレイ。サッカーと違い、両チームのフォワードが並んで、投げ入れられるボールを取り合うセットプレイ)は2人か3人で行なうことが多いそうです。トライ後のキックや、反則後のペナルティキックは、15人制と違い、時間短縮のため、ドロップキック(手に持ったボールを地面に落としてから蹴るプレイ)で行ないます。

参考 日本ラグビーフットボール協会HP